

## 平成31年度事業報告概要

令和2年6月29日

当財団の最大の収益事業である宇宙航空研究開発機構（JAXA）様からの受託業務に関し、東京地区では追加業務および新規業務を受注することができ増収となりました。

宮城地区においても追加業務を受注することができ、前年度より増収となりました。

支出については、定例の経営企画運営委員会等で顧問税理士などのご意見をいただき予算管理の強化を図りました。社内の新規プロジェクトの計画について、それぞれの収益性・将来性を議論して、絞り込みを行い、支出の削減に努めました。

以上の結果、当年度は増収増益に転じることとなりました。

公益事業につきましては、例年同様、日本航空宇宙学会や傾斜機能材料研究会など、関連学会・協会の講演会やシンポジウム、セミナーの開催支援を行いました。

昨年12月2日に、地元企業8社を中心として材料分析評価業務を行なう新会社を設立し、当財団も株主として参画しました。当財団では、受託業務の一部を新会社に委託し協力関係を強化しているほか、今後、地元企業との連携による新たな東北エリアにおける分析市場の開拓に協力していきます。